

法人（事業所）理念		共に歩み、共に遊び、共に育む   スタッフは利用児童と家族様の道標となるべく、日々の療育力を向上させる											
支援方針		集団療育の中で生活習慣を身に付け、自分の気持ちを言える力を養い、自分らしく過ごせる居場所を持てるよう支援していきます。 また保護者様との関係構築に努め相互協力のもと、子どもへの理解を深め、自己決定力が身につくよう療育に活かします。 主な対象年齢：小学1～3年生											
営業時間		9   時		30   分から		18   時		0   分まで		送迎実施の有無		あり   なし	
		支   援   内   容											
本人支援	健康・生活	・消毒、手洗い、うがいの衛生面の徹底。 ・検温や状態の確認、トイレや水分摂取の声掛け(タイマー使用)、アレルギー情報の確認などの健康状態の把握。 ・ホワイトボードを用いて1日の流れや巻物カレンダーでの1ヶ月の予定を確認することで行動の見通しをつける。 ・お買い物やお出かけのレクリエーションを行い、周囲への関心を持たせることで日常生活のルールが身につける。											
	運動・感覚	・運動系のレクリエーション(施設外運動場でのいろいろな運動、ひっくり返し・いす取りゲームなど)を行うことで、しっかり身体を動かし体幹や瞬発力、バランス感覚を整える。 ・創作系のレクリエーション(工作、スライム、プラバン、指先(小さな材料を積み上げる積み積み遊び、豆つかみ、紐とおし)など)を行うことで、手先、指先へ刺激を与え感覚や発想力を養う。											
	認知・行動	・季節工作やカレンダーづくりなど、季節や節句に対応した内容のレクリエーションや季節に応じた装飾で室内掲示写真を提供することで、季節感や節句などの行事の認識を促す。 ・イラストと文字を用いた注意喚起や説明などを視覚に訴えかけた掲示することで、認知機能を高め行動との協調性を促す。											
	言語 コミュニケーション	・レクリエーションや自由時間を通して成功体験を積み、語彙力を高めることで自発的な発言を促す。 ・施設内掲示のレクリエーションの写真など共通項を見出し会話や交流のきっかけを作り、場を広げることで児童の自主的な関わりを持てるようにする。 ・関わりを持つ中で起こる意見の食い違いや言い争いなどが生じた場合は、支援員が間に入り意思疎通が円滑に進むよう支援する。											
	人間関係 社会性	・集団活動の中で人との関わりに対し難しい時は支援員が間に入り活動を促し、徐々に他者との係わりの経験を積み自分だけで関係構築できるように支援する。 ・集団での活動を通して、社会性や集団ルールを理解し身に付けていけるよう支援する。 ・個人で行う課題や宿題をすることで学習習慣を身に付け、わからないところを自分から支援員に聞けるようになることで自己解決力を養い、達成感を得ることで自信に繋げるよう支援する。											
家族支援		・定期的に家族と連携を図り、支援方針について情報提供を行います ・必要時ケース会議を開催し、学校や園、他の通所先と連携を図ります						移行支援		・個別対応（学習支援） ・家庭・学校・他事業所との連携			
地域支援・地域連携		・医療・福祉・教育の連携						職員の質の向上		・会社全体学習会（年4回）   ・ヒヤリハット分析、報告会 ・法定研修(虐待防止、感染症予防) ・ケーススタディ（事例検討）への取り組み			
主な行事等		春：新入生歓迎会、お花見、避難訓練、いちご狩り   夏：プール、施設内縁日   秋：ハロウィンパーティー、落ち葉拾い、みかん狩り   冬：クリスマスパーティー、お正月遊び、初詣 長期休み：県外施設への遠征、お出かけ（公園、図書館、科学館、体育館、文化館、お買い物など）、大掃除											